



*U.S. Commercial Service Japan
Embassy of the United States of America*

米国大使館 商務部主催

DX Webinar シリーズ 2022

米国 DX Technology 最前線 【半導体・自動車・デジタルヘルス・製造業編】

本ウェビナーシリーズでは、4つの産業分野（半導体関連産業、自動車&モビリティ関連産業、デジタルヘルス関連産業、製造業全般）を取り上げます。短期的に、また、中長期的にも皆様のDX促進に向けてご活用いただけるテクノロジーを、米日での事例を交えましてご紹介をさせていただきます。沢山の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

<開催概要>

❖ 日程

- 第1回：半導体関連産業向け〈6月3日（金）10:00～12:00〉開催終了
- 第2回：自動車&モビリティ関連産業向け〈6月9日（木）10:00～12:00〉
- 第3回：デジタルヘルス関連産業向け〈6月30日（木）10:00～12:00〉
- 第4回：製造業全般向け〈7月7日（木）10:00～12:00〉

❖ 形式

- 全て Cisco Webex を使用したライブ配信を予定しております。
- 日本語で行います。

❖ 参加申込

- 参加費は無料ですが、事前登録が必要となります。
- URL (<https://bit.ly/3MIGR7p>) または QR コードより
参加登録フォームにアクセスして頂きお申込みください（全4回共通）。
- お申込みいただいた皆様には後日、登録頂いたメール宛に聴講用サイト URL 等をお送りいたします。



❖ 申込締切

- ウェビナー各回の前日 15 時（予定）

<開催概要（続き）>

❖ 登壇予定企業

- 第3回：デジタルヘルス関連産業向け
 - 株式会社セールスフォース・ジャパン
 - Data Robot Japan 株式会社
 - インテル株式会社
- 第4回：製造業全般向け
 - アクセンチュア株式会社
 - ロックウェルオートメーションジャパン株式会社
 - ゼットスケラー株式会社

❖ お問い合わせ：ご質問やご不明点なございましたら、下記担当までお願いいたします。

- 第3回デジタルヘルス関連 (杉浦：akiko.sugiura@trade.gov)
- 第4回製造業全般 (大橋：yu.ohashi@trade.gov)

<デジタルヘルス関連産業ならびに製造業関連産業の皆さまへ>

本ウェビナーシリーズでは、各業界の動向を踏まえた DX ソリューションをご紹介します。

第3回デジタルヘルス関連産業向けウェビナー、ならびに第4回製造業関連産業向けウェビナーの概要をご紹介します。是非お申込みをいただければ幸いです。

■ 6月30日（木）開催：デジタルヘルス関連産業向けウェビナー ■

【開催日時】

2022年6月30日（木）10:00～12:00

【プログラム】

10:00 - 10:05	開会のご挨拶（米国大使館ラーム・エマニュエル駐日大使）
10:05 - 10:20	基調講演 U.S. Chamber of Commerce（全米商工会議所） Global Initiative on Health and the Economy Senior Director, Varnee Murugan 氏 
10:20 - 10:45 10:45 - 10:50 Q&A	『セールスフォースが臨床開発イノベーションを加速する』 株式会社セールスフォース・ジャパン インダストリーズトランスフォーメーション事業本部 ヘルスケア・ライフサイエンス業界担当 シニアマネジャー 早田 和哲氏  （講演内容）セールスフォースが、ライフサイエンス企業の臨床開発をデジタルを通じてどのように加速させているかをいくつかの事例とソリューションをご提示しながらご紹介いたします。 具体的には、臨床試験での患者さんのエンrollmentや、エンゲージを高めることによる臨床試験からの脱落防止など、臨床試験における患者さんとのタッチポイントでの活用例とソリューションになります。 最近では、CAR-T 製品や Gene Therapy などパーソナライズされた製品や Pipeline は、システムを Update していくことで、コマーシャルにそのまま移行できるようになってきておりますので、こちらもご紹介させていただきます。

10:50 - 11:15 11:15 - 11:20 Q&A	『実社会の課題を AI で解決する（COVID-19 AI 活用プロジェクトからの学び）』 DataRobot Japan 株式会社 データサイエンティスト 鎌田 啓輔氏 
	（講演内容）データサイエンスを民主化し、大規模な環境で AI を構築、デプロイ、メンテナンスするためのプロセス全体をエンドツーエンドで自動化する AI Cloud プラットフォームを提供している DataRobot は、社会課題である COVID-19 に対して、2020 年 3 月から様々なプロジェクトを進めてきました。本セッションでは、COVID-19 AI 活用プロジェクトの事例や、それらプロジェクトから得られた、変化が激しい時代に対応するための学びをご紹介します。
11:20 - 11:45 11:45 - 11:50 Q&A	『Transforming Healthcare in a post-pandemic world / パンデミック後の世界におけるヘルスケアの変革』 インテル株式会社 ヘルス&ライフサイエンス アジアパシフィック セールスリーダー ジョージ・タイ 様  ヘルスケア業界の状況とヘルスケアの変革に影響を与えるトレンドについて説明すると共にヘルスケアリーダーの皆様の最大の懸念事項と、ヘルスケアにおけるデータ分析の予測可能な機会についてご紹介します。インテルは、ユビキタスコンピューティング、コネクティビティ、AI、およびエッジからクラウドへのインフラストラクチャを実現することで、ヘルスケアの勢いを促進していくと同時に アジアパシフィックエコシステムと協力して、ヘルスケアソリューションとデジタル化の変革力をグローバル化するためにパートナーと継続的な協業を目指していきます。
11:50 - 12:00	閉会のご挨拶（米国大使館商務担当参事官スティーブ・ノード）

【お問合せ】 在日米国大使館商務部 デジタルヘルス関連担当 杉浦 (akiko.sugiura@trade.gov)

■ 7 月 7 日（木）開催：製造業全般向けウェビナー ■

【開催日時】

2022 年 7 月 7 日（木） 10:00～12:00

【プログラム】

10:00-10:05	開会のご挨拶（米国大使館ラーム・エマニュエル駐日大使）
10:05-10:25	基調講演 - CESMII (The Smart Manufacturing Institute) – a Manufacturing USA Institute - Chief Executive Officer (CEO) John Dyck 氏
10:25-10:50 10:50-10:55 Q&A	『日本の製造業が直面する世界と今後のデジタル変革の方向性』 アクセンチュア株式会社 インダストリー本部 マネジング・ディレクター 山田 祐也氏  （講演内容） Industry 4.0 に始まるデジタル化の波に始まり、世界的な新型コロナウイルスの蔓延や、SDGs において企業に求められる取り組みなど、製造業を取り巻く環境は、大きくかつ加速度的に変化している。本講演では、こうした世界の動きに対し日本の製造業が置かれている現状や、今後取り組むべきデジタル変革の方向性について概説する。
10:55-11:20 11:20-11:25 Q&A	『データで読み解く次世代製造基盤 - デジタル化における課題突破し、市場要求に機敏に反応するものづくりプラットフォームの価値 -』 ロックウェルオートメーション ジャパン株式会社 パートナー戦略事業本部 本部長（エバンジェリスト） 吉田 高志氏 

	(講演内容) 近年の急速な市場の変容を背景に製造課題といったものがより多角化傾向を示している。これらを解決するための手段の1つとなるのが、デジタル技術の適用ということになるが、その一方で、この手法による成功と難航といった企業成果が二極化しているのが今の実情である。この二極化するそれぞれの要因を事例で示すと共に、デジタル技術適用における本質的効果についての説明を行う。
11:25-11:50 11:50-11:55 Q&A	『グローバルな製造業の事例から読み解く理想的な次世代インフラ移行』 ゼットスケーラー株式会社 エバンジェリスト&アーキテクト 高岡 隆佳氏  (講演内容) 製造業において、閉域網の利用やオンプレ環境での企業アプリケーションや地域特性に応じた導入や運用などに関連する課題はゼロトラストの実装においてクリティカルな要件となっています。そして、これらの課題に同時に取り組まないと、DXの実現はより困難になります。本講演では、ゼロトラストを実現したグローバル展開する大手製造業がどのようにIT・OTのセキュリティと生産性を確保したビジネス基盤を構築したかをご紹介します。
11:55-12:00	閉会のご挨拶 (米国大使館商務部 アラン・ターリー商務担当公使)

プログラム、講演内容につきましては変更する場合があります。予めご了承ください。

【お問合せ】

在日米国大使館商務部 商務部 先端製造技術関連担当 大橋(Yu.Ohashi@trade.gov)